

令和7年度 函館地区の研究活動

研修部長

函館市立鍛神小学校
校長 吉田拓史

1 はじめに

函館市小学校長会は、函館市内の公立小学校・併置校・義務教育学校に所属する39名の会員で組織されている。主な活動として、函館市内の小・中校長会合同による教育経営研修会を行い、研修を推進しながら地域の教育力の維持向上に向け研鑽に努めている。本年度は、函館市小学校長会が主管実施した。また、定例の研修会では本研究会の課題に沿った情報交流会を研修会後に行うなど会員間の交流も行っている。さらに道小及び全連小大会への参加も中心となって進めるなど、会員の資質向上に向けた研修を行ってきた。



◇9月25日 函館市小学校長会研修会◇

2 研究計画

(1) 研究の方針

- ① 教育の今日的課題とその解決に向けた諸施策等の動向を見定め、校長としての資質の向上を図るための研修活動を推進する。
- ② 全連小及び道小の研究の方向性を踏まえ、各学校の学校経営の充実に資する研究を推進するとともに、研究協議会への積極的な参加を図り、その成果を域内教育の深化・充実に生かすように努める。

(2) 研究主題

「危機管理への組織的対応を目指した学校経営の充実」
～様々な危機への対応、未然防止の体制づくりと校長の在り方～

(3) 研究主題の趣旨

函館市では平成30年3月に「函館市教育振興基本計画」を策定しており、函館市が目指す人間像として、「自立」「共生」「創造」が理念として掲げられ、六つの基本目標が示されている。函館市小学校長会としては、こうした理念に基づき、函館の教育が目指す人間像の具現化に向けて、会員の連携協力により、今日的な教育課題の解決に資する研究活動を続けてきた。

本研究においては、様々な危機への対応、未然防止の体制づくりに校長が果たすべき役割と指導性を明らかにしていった。とりわけ、本年度は教職員の高い危機管理能力の育成に視点を当てて研究を深めているところである。これらの取組を通して学校経営の更なる改善を図るとともに、教職員の意識改革を進め、危機管理への組織的対応を実現するために校長のとるべきリーダーシップについて明らかにする。また、第68回北海道小学校長会教育研究根室大会での第10分科会の研究発表を行った。

定例校長研修会後に行っている情報交流においては、昨年度からまとめてきた「生徒指導提要を活用した適切な対応と体制づくり」、「北海道いじめ防止基本方針を受けた自校の取組状況」

の六つの観点（「いじめ見逃しゼロ」に向けた共通理解の在り方）、「関係機関を含めた不登校児童の居場所づくり」、「実効性のある危機管理マニュアルの検証と改善」、「教職員の危機管理意識・危機管理能力を高める取組の実践例」、「関係機関と連携した組織的取組（コミュニティ・スクールの活用など）から各学校での「危機管理に関わる教職員の育成の取組」に視点を当て、交流し、他校の取組で参考になったことやより望ましいと考えられた校長としての対応を「目安とする危機対応例（改訂版）」（右資料）としてまとめた。



3 研究活動の概要

(1) 教育経営研修会の企画・開催

① 学校経営の充実のための教育講演会

- 期日 令和7年7月11日（金）
- 講師 北海道教育庁渡島教育局長 長居 成好 様
- 講話 「北海道の教育における今日的な課題について」

(2) 小学校長会研究大会への参加

① 第68回北海道小学校長会教育研究根室大会への参加

- 期日 令和7年9月12日（金）・13日（土）
- 参加 第10分科会 趣旨説明者 函館市立北美原小学校 佐藤 豊 校長
第10分科会 研究発表者 函館市立中島小学校 目黒 範和 校長
他、全13名が参加

② 第77回全国連合小学校長会研究協議会福岡大会（令和7年10月16・17日開催）

- 4分科会に4名参加

(3) 当面する教育課題に関する取組の企画・実践、情報発信

「危機管理への組織的対応を目指した学校経営の充実」～様々な危機への対応、未然防止の体制づくりと校長の在り方～について「危機管理に関わる教職員の育成の取組」を設定して各学校の情報を交流し、より望ましい校長としての関与を「函館市小学校長会で目安とする危機対応例（改訂版）」としてまとめた。

また、危機対応例に基づく危機管理に関わる教職員の実践事例を収集して、令和8年度全連小札幌大会における研究発表に反映させることとしている。

4 おわりに

本年度は、「危機管理への組織的対応を目指した学校経営の充実」について、様々な危機への対応、未然防止の体制づくり及び危機管理に関わる教職員の育成における校長の役割や指導性に焦点を当てて研究を進めた。特に様々な危機への対応、未然防止の体制づくりの視点では、第68回北海道小学校長会教育研究根室大会で研究の発表を行い、客観的なご意見をいただき、研究の成果が得られた。また、六つの観点に基づく情報交流を定例校長研修会で行うことにより望ましい校長としての関与やリーダーシップについて「函館市小学校長会で目安とする危機対応例」としてまとめ、全会員で共有できることは危機管理の未然防止に資する取組となった。函館市小学校長会では、こうした研究成果を生かし、これからの中学校経営の一層の改善に取り組むこととしている。